



WISSEN



No.13

2018年度の学生ボランティア・学生情報通信員による広報誌「WISSEN」をお届けします。
2018年度は学生ボランティア 5名で活動しました。
この広報誌「WISSEN」では学生ボランティアの活動をご紹介します。

2018年度の活動

- ・新刊・学生選書・展示のためのPOP作成
- ・学生ボランティアミーティング
- ・季節の装飾
- ・クリスマスの飾り付け
- ・「図書館長と話をしよう！」に参加
- ・ビブリオバトル



新刊・学生選書・展示のためのPOP作成



学生ボランティアの仕事の一つとして新刊や学生選書など、各展示コーナーにある本の説明や推薦文を書いています。

展示が終了した本のPOPは、新館2階円形コーナーに「POP大行進」と称して並べて置いてあります。

学生ボランティアが自信を持っておすすめしたい本ばかりです。ぜひ、手に取ってみてください！



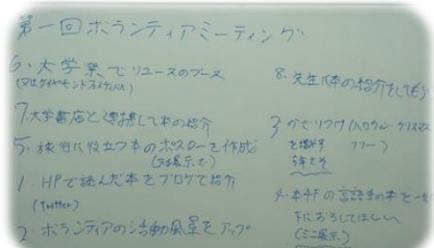
学生ボランティアミーティングの様子

学生ボランティア・学生情報通信員の主な活動時間は授業の合間や放課後など、好きな時間帯に活動しています。

その間に、学生ボランティアは年に数回ほどミーティングを行い、図書館でやってみたい展示や企画の案を出していきます。毎年様々な案が集まり、今年も個性あふれる企画が生み出されました。



ミーティングは初対面の人が多く、最初は緊張しますが、ミーティングや活動を通して学年を超えて親睦を深めていきます。



季節の装飾



「クリスマスだけでなく図書館を四季に合わせて装飾をしたい！」という学生ボランティアの意見により、図書館を四季折々の装飾で彩りました。

秋には紅葉やハロウインの装飾を飾りつけ、図書館内が一気に秋らしくなりました。POPも秋仕様になり、たくさんの方が足を止めて見てくださいました。



クリスマスの飾り付け



四季に合わせた装飾の中で特に大きな飾りつけをしたのはクリスマスです。

きらびやかなツリー、スノーマン、リースなどでクリスマス一色に飾り付け、図書館内が華やかになりました。

図書館では、毎年、本学管弦楽団によるオーケストラ演奏と、ストーリーテラーによる語りで「図書館コンチェルト」を開催しています。2018年度も12月22日に行われ、多くのお客さんに楽しんでいただきました。



「図書館長と話をしよう！」に参加

11月21日ポーアイ図書館にて、「図書館長と話をしよう！」が行われました。

図書館で気になることや聞いてみたいこと、何でもざっくばらんに語り合えるイベントです。

参加した学生ボランティアも、さまざまな意見を交わしました。



ビブリオバトル参戦！！

2007年に京都大学で生まれた、知的書評合戦「ビブリオバトル」。発表者が自分のお勧め本を紹介し、一番読みたくなった本を参加者全員が投票し、「チャンプ本」を決定します。

有瀬図書館でも2011年より開催していますが、2018年度は学生ボランティアを含むバトラー達が熱戦を繰り広げました！



『キノの旅』:時雨沢恵一著
本館4階文庫・新書
B/デンゲ

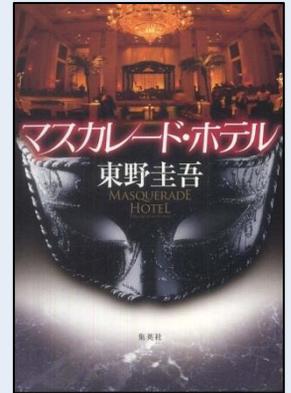


-学生ボランティア おすすめの図書-

『マスカレードホテル』 東野圭吾

有瀬図書館 本館4階閲覧室 913.6/HIG/M

最近映画化されたミステリー小説です。ホテルへの潜入捜査をする刑事の男性とホテルで受付を担当し刑事と共に働く女性が主人公の話です。人の憎しみが悪い方向に働くと非常に恐くなり、同時に何時自分がその立場になるか分からないと思え、考えさせられました。また、相手を理解することから、信頼関係が生まれるとも思われました。



『塩の街』 有川浩

有瀬図書館 本館4階閲覧室 913.6/ARI/S

塩の結晶が降り注ぎ、人が塩に変えられていくようになってしまった世界。その最中の東京で、自衛官の男「秋庭」と秋庭に助けられた高校生の女の子「真奈」は世界を救うために利用される…秋庭と真奈、塩害に侵される人々と塩害を鎮めるために戦う人々がそれぞれの気持ちを貫き生き延びようとする物語。こんな世界になってしまったために失ったもの、こんな世界になってしまったからこそ得たものが交錯する、展開から目が離せない1冊。

『夜と霧』 ヴィクトール・E・フランクル著 池田香代子訳

有瀬図書館 本館4階書庫 946/FRA/Y

著者が実際に強制収容所に入り、解放されるまでの生活のなかで目の当たりにした人間の心理や収容所においてどのように生き延びたかを記した本です。戦争を知らない我々が戦争を知るために読むべき一冊だと感じました。ぜひ多くの人に手に取ってほしいと思います。



『放課後の厨房男子』 秋川滝美

有瀬図書館 本館4階閲覧室 913.6/AKI/H

私たちと同世代の男子が中心となった話で、男子特有のノリや登場する美味しそうな料理が読んでいて楽しかったです。

-1年間の活動を振り返って-

今年あまり活動に参加できませんでしたが、クリスマスの飾り付けは他学部との交流もあり、なかなかない体験でとても楽しかったです。

図書館のボランティア活動は、バラエティに富んでいるので、活動しているといろんな経験ができ、とても充実しています。

(栄養学部・2回生)

学生ボランティアには、「本が好きだから」というざっくりとした理由で参加させていただきましたが、ボランティア活動をしていく中でより多くの本に触れる機会を頂きました。

また、行事ごとに図書館の飾り付けを行うなど、本をより良く見せたり、図書館をより明るく楽しい雰囲気にしたりするための活動にも参加でき、普段図書館を利用しているだけではできない経験をさせていただきました。

これからもボランティア活動を続けていきたいと思います。

(人文学部・1回生)

私は今年でボランティアが4年目となりました。その中でも、まだまだ多くのことを学ぶことができました。また、活動を通して多くのことを考えさせられました。

どのようなPOPを作成すれば他の人が読みたいと思えるのかや、どのような季節の飾り付けをすることで多くの人に楽しんで頂けるのか、などを考えさせられました。

この4年間で学んだことをこれからの生活で活かしていきたいです。

(人文学部・4回生)

図書館ボランティアでは主にクリスマスの飾り付けや本のポップの制作をしました。

特にポップ作りでは、来館者の目をなるべく引くように注意して色を選ぶことやどのように書けば興味を出してくれるのか考えながら制作しました。来年も図書館ボランティアに参加させていただきたいと思います。

(人文学部・1回生)

編集後記

2018年度も多くの学生ボランティアの皆さんに活動していただいたので、図書館を盛り上げることができました。

スタッフとしても、とても充実した1年となりました。

図書館での活動を通して、皆さんに何か得られるものがあれば嬉しく思います。

学生ボランティアのみなさん、1年間お疲れ様でした。

2019年度もぜひ学生ボランティア・学生情報通信員にご参加ください♪
(スタッフより)

学生ボランティア・学生情報通信員は

随時募集中です。

興味がある方はお気軽にスタッフまで
お声かけ下さい♪



発行日	2019年 6月 24日
編集	2018年度 学生ボランティア
発行	神戸学院大学 有瀬図書館
印刷	神戸学院大学 有瀬図書館